

Panasonic®

取扱説明書 操作・設定編

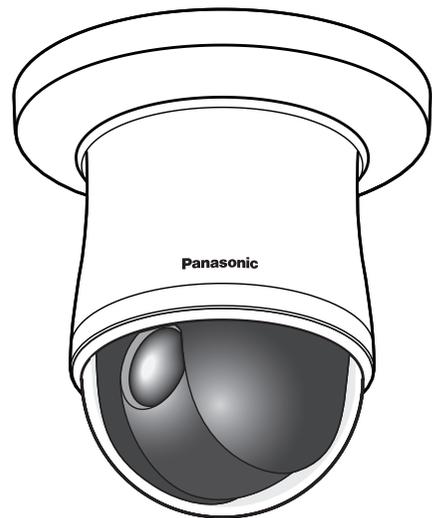
カラーテレビカメラ

品番 WV-CS580

WV-CW590/WV-CW590A



WV-CW590



WV-CS580

はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書(PDFファイル)と取扱説明書 基本編の2部構成になっています。

本機の設置のしかたは、「取扱説明書 基本編」をお読みください。

※ 本書中の画面は、WV-CW590を使用しています。

PDFファイルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。

本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

CW590 WV-CW590、WV-CW590Aで使用できる機能です。

CS580 WV-CS580で使用できる機能です。

商標および登録商標について

AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

もくじ

はじめに

取扱説明書について	2
記号について	2
商標および登録商標について	2

RS485設定	4
セットアップメニューについて	6
セットアップメニューの表示方法	6
言語設定メニューについて	6
カメラ設定	7
カメラ設定メニューの設定をする	7
パン・チルト設定	16
パン・チルト設定メニューの設定をする	16
アラーム設定	33
アラーム設定メニューの設定をする	33
特別設定	39
特別設定メニューの設定をする	39
シーンセレクト設定	42
シーンセレクト設定メニューの設定をする	42
簡単メニュー設定	43
簡単メニューに切り替える	43
パスワード設定	44
パスワードロック機能を設定する	44
ショートカット操作について	46

7 カーソルを「XON/XOFF」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、XON/XOFF機能を設定します

工場出荷時の設定は「NOT USE」です。

NOT USE : XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をしません。

USE : XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をします。

8 カーソルを「WAIT TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、再送時間を設定します

再送時間とは、送信したデータの受信確認(ACK)が無かったときに、再度データを送るまでの時間をいいます。

再送時間の表示は次のように切り替わります。(単位:ms)工場出荷時の設定は「OFF」です。

OFF ↔ 100MS ↔ 200MS ↔ 400MS ↔ 1000MS



9 カーソルを「ALARM DATA」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アラームデータの送信方法を設定します

POLLING : システムコントローラーからの要求により送信します。

AUTO1 : アラーム信号が入力されたときに送信します。

AUTO2 : 2回目以降は5 秒間隔以上で送信します。工場出荷時の設定です。

10 カーソルを「DELAY TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、遅延時間を設定します

遅延時間とは、受信確認(ACK)を送信するまでの時間をいいます。遅延時間の表示は、次のように切り替わります。(単位:ms)工場出荷時の設定は「OFF」です。

OFF ↔ 100MS

この設定は、DIPスイッチ2の設定で「2線式通信」を選択している場合のみ行えます。

(基本編 参照)

セットアップメニューについて

操作の詳細説明は、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

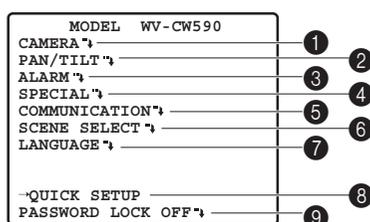
本書では、システムコントローラーWV-CU650を使用する場合の操作方法を記載しています。

すべての設定操作は「セットアップメニュー」を表示したところから始まります。ここではセットアップメニューの表示方法と設定項目について説明します。

セットアップメニューの表示方法

●WV-CU650を使用する場合

- ① 設定するカメラ(本機)と、セットアップメニューを表示するモニターを選択する
- ② メニューボタンを押して、「LCD MENU CAM101」を表示する
- ③ ENTERボタンまたはカメラ(セット) ボタンを押して、「CAMERA SETUP」を表示する
- ④ F1ボタンを押す



「セットアップメニュー」の各項目は下記のページをご覧ください。

① CAMERA	カメラ設定	7 ページへ
② PAN/TILT	パン・チルト設定	16 ページへ
③ ALARM	アラーム設定	33 ページへ
④ SPECIAL	特別設定	39 ページへ
⑤ COMMUNICATION*	通信設定	4 ページへ
⑥ SCENE SELECT	シーンセレクト設定	42 ページへ
⑦ LANGUAGE	言語設定	本ページ
⑧ QUICK SETUP	簡単メニュー設定	43 ページへ
⑨ PASSWORD LOCK	パスワード設定	44 ページへ

※DIPスイッチ設定がRS485設定のときのみ表示されます。

言語設定メニューについて

1 カーソルを「LANGUAGE ↵」に合わせ、カメラ(セット) ボタンを押します

2 設定したい言語を、8か国語の中から選択します

※本取扱説明書は日本語をベースに説明しています。工場出荷時の設定は「JAPANESE」です。

3 カーソルを「SET」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

※言語設定切り替え中、SET項目が点滅表示になり、切り替えが完了すると、点滅表示が停止します。切り替え中は、システムコントローラーからの操作を行わないでください。

※言語を切り替えた場合、設定されているID、タイトルは消去されます。

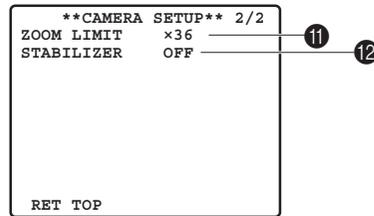
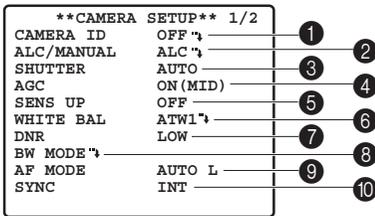
※言語を切り替えた場合でも、「LANGUAGE」の表示は英語です。

カメラ設定

カメラ設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、カメラ設定メニューを表示し、各メニュー項目の設定を行います。最初にカメラ設定メニューを表示します。

- 1 セットアップメニューを表示し(⇒6ページ)、カーソルを「CAMERA」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
カメラ設定メニューが表示されます。



※各カメラ設定メニュー①～⑫を順番に説明します。

① カメラIDを設定する [CAMERA ID]

カメラIDとは、カメラが撮影する場所を英数記号およびカタカナで表したもので、モニター画面上に表示することができます。工場出荷時の設定は「OFF」です。

- 1 カーソルを「CAMERA ID」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます
- 2 「ON」または「OFF」を選択し、カメラ(セット)ボタンを押します
カメラID設定メニューが表示されます。

③ ジョイスティックを動かして入力したい文字の上にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

入力した文字が入力領域に表示されます。この操作を繰り返し、カメラIDを作成します。(例: DOOR)

[空白スペースを入力したいときは]

「SPACE」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します。

[カタカナを入力したいときは]

「KANJI」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します。カメラID設定メニューのアルファベットおよび記号部分がカタカナ表示に変わります。

「ALPHA」にカーソルを合わせてカメラ(セット)ボタンを押すと、アルファベット表示に戻ります。



(⇒次ページへ続く)

カメラ設定

【入力した文字をすべて消去するときは】

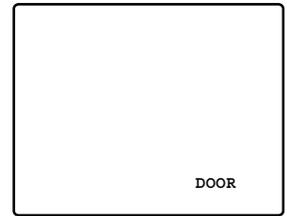
「RESET」にカーソルを合わせ、カメラ(セット) ボタンを押します。

【入力した文字を修正するときは】

ジョイスティックを動かして入力領域にカーソルを移動します。次にジョイスティックを左または右に動かして修正したい文字に「↑」を合わせ、文字を入力し直します。

4 カーソルを「POS1」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
表示位置設定メニューが表示されます。

5 ジョイスティックを動かしてカメラIDの表示位置を設定し、モニター(ESC)ボタンを押します
カメラIDの表示位置が決定し、カメラID設定メニューに戻ります。



② レンズの絞り方法を設定する [ALC/MANUAL]

1 カーソルを「ALC/MANUAL」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ALC/MANUALを切り替えます

ALC : 被写体の明るさに応じて、自動でレンズの絞りを調整します。SUPER-D6機能を使用するときはこの設定にしてください。工場出荷時の設定です。

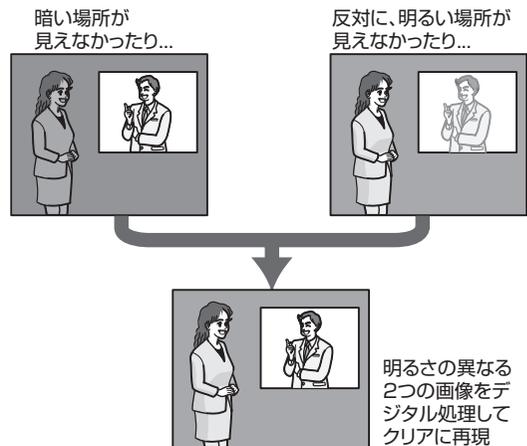
MANUAL : レンズの絞りは、システムコントローラーのアイリスボタンで調整してください。レンズの絞りを固定します。

2 手順1でALCに設定した場合、カメラ(セット) ボタンを押して、SUPER-D6の設定を行います

SUPER-D6(スーパーダイナミック6)機能とは

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまいます。逆に、暗い部分にレンズの絞りを合わせると明るい部分が見えなくなってしまいます。

このような場合に、被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能をスーパーダイナミック機能といいます。



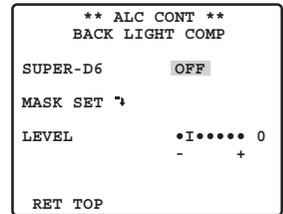
SUPER-D6(スーパーダイナミック6)機能とは(続き)

メモ

- SUPER-D6機能は、上記の設定を「ALC」に設定したときのみ使用できます。
- SUPER-D6機能をONに設定すると、カメラ設定の下記項目が制限されます。
SHUTTER : OFF、AUTO、1/100のみ切替可能(⇒10ページ)
SENS UP : OFF、AUTOのみ切替可能(⇒11ページ)
- 照明の条件によって次のような現象が見られるときは、SUPER-D6機能「OFF」でご使用ください。
 - ① 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
 - ② 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

3 「SUPER-D6」の項目にカーソルを合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

- ON : SUPER-D6機能を働かせます。(⇒手順6へ)
OFF : SUPER-D6機能を停止します。(⇒手順4へ)
工場出荷時の設定です。



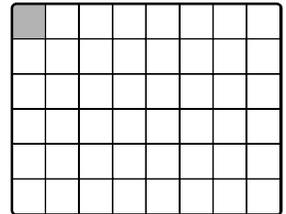
4 「MASK SET」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

マスク設定画面が表示され、左上の区画が点滅します。

5 背景の明るい部分の区画にマスクを設定し、その部分の明るさを認識しないようにします

操作方法は次のとおりです。

- ① ジョイスティックを上下左右に動かし、点滅表示をマスク設定したい区画に合わせます。
- ② カメラ(セット)ボタンを押し、マスクを設定します。
マスクが設定されている区画に点滅表示を合わせると、横縞と白の交互表示になります。この状態でカメラ(セット)ボタンを押すと、設定されていたマスクが解除されます。
- ③ マスクを設定したらモニター(ESC)ボタンを押して、SUPER-D6設定メニューに戻ります。



6 「LEVEL」の項目にカーソルを合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、映像出力レベル(映像のコントラスト)を調整します

手順3で「ON」に設定した場合、レベルを少し上げ気味にすると、より効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、残像やノイズが多くなることがあります。

メモ

- メニューを閉じて、運用中にシステムコントローラーのアイリス(開、閉)ボタンを操作した場合、この設定に反映されて記憶されます。ただし、カメラがプリセットポジションにある場合は、プリセットポジションの撮影条件として反映されます。工場出荷時のレベルに戻すには、システムコントローラーからアイリスリセットを実行します。

カメラ設定

③ シャッターを設定する [SHUTTER]

1 カーソルを「SHUTTER」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、シャッター速度を設定します

シャッター速度の設定項目の表示は次のように切り替わります。(単位:秒)

[SUPER-D6機能の設定がOFFの場合] [ALC/MANUALがMANUALの場合]

OFF ↔ AUTO ↔ 1/100 ↔ 1/250 ↔ 1/500 ↔ 1/1000 ↔ 1/2000 ↔ 1/4000 ↔ 1/10000

↑ _____ ↑

[SUPER-D6機能の設定がONの場合]

OFF ↔ AUTO ↔ 1/100

↑ _____ ↑

AUTO :屋外など明るい被写体を写したとき、必要に応じてシャッターが自動的に働くので、よりクリアな撮影が可能です。工場出荷時の設定です。

OFF :1/60秒固定です。

メモ

- ・AUTO 設定時、蛍光灯などの下では、フリッカーが発生する可能性があります。その際は、「1/100」にして使用してください。
- ・電子感度アップ設定が「FIX」の場合、AUTOの機能は働きません。

④ ゲインを設定する [AGC]

1 カーソルを「AGC」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ゲインを設定します

ON(HIGH) / ON(MID) / ON(LOW)

:被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。

()内のHIGH/MID/LOWはゲインのレベルになります。

OFF :ゲインを上げません。

工場出荷値は「MID」です。

メモ

- ・「SENS UP」をAUTOモードに設定している場合、「AGC」は「OFF」に設定することができません。
- ・AGCを「ON」にすると、低照度で自動的にノイズリダクション機能が働き、ノイズが低減されます。ただし、動きのある被写体やパン・チルト操作によって残像が発生することがあります。詳しくは、DNRの設定(⇒12ページ)を参照してください。

⑤ 電子感度アップを設定する [SENS UP]

1 カーソルを「SENS UP」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、電子感度アップを設定します

電子感度アップは、シャッター速度が「OFF」、「AUTO」、「1/100」のときのみ設定できます。設定項目の表示は次のように切り替わります。工場出荷時の設定は「OFF」です。

[SUPER-D6機能の設定がOFFの場合] [ALC/MANUALがMANUALの場合]

↵ X512 FIX↔OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO
X256 FIX↔X128 FIX↔X64 FIX↔X32 FIX↔X16 FIX↔X10 FIX↔X6 FIX↔X4 FIX↔X2 FIX↔OFF↵

[SUPER-D6機能の設定がONの場合]

OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO
↑↑

メモ

AUTOとFIXには次のような違いがあります。

- AUTO** :たとえば「X32 AUTO」であれば、32倍までの間で自動的に感度を上げます。シャッター速度が「OFF」、「AUTO」、「1/100」以外のときは、設定できません。
- FIX** :たとえば「X32 FIX」であれば、32倍に固定して感度を上げます。シャッター速度が「OFF」以外のときは、FIXに設定できません。

注意

SENS UPが設定されると、映像内にノイズや白い点(傷)が見えることがありますが、異常ではありません。

⑥ ホワイトバランスを調整する [WHITE BAL]

1 カーソルを「WHITE BAL」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ホワイトバランスの調整方法(ATW1/ATW2/AWC)を設定します

ATW1 (工場出荷)

:自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調整します。動作範囲は約2700 K~6000 Kです。

ATW2:ナトリウム灯自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調整します。動作範囲は約2000 K~6000 Kです。

メモ

- 以下の条件に該当する場合、忠実に色を再現できないことがあります。
 - ・被写体の大部分が濃い色の場合
 - ・光源が抜けるような青空や夕暮れ時の太陽の場合
 - ・被写体を照らす照度が不足している場合

カメラ設定

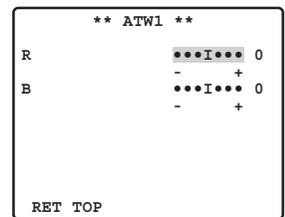
AWC : 自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2000 K~10000 Kです。「AWC」に設定した場合、ホワイトバランスを調整する必要があります。

- (a)「AWC」を選択した場合は、ジョイスティックを左に動かし、「AWC→PUSH SET」に切り替えます。
- (b)カメラ(セット)ボタンを押し、ホワイトバランスを調整します。ホワイトバランスの調整中は、「PUSH SET」が反転表示になります。
 - ・「PUSH SET」の反転表示が元に戻ったら、ホワイトバランスの調整は終了です。ジョイスティックを右に動かし、表示を「AWC」にします。
 - ・ホワイトバランスを完全に調整できない場合、「PUSH SET」は反転表示のままとなります。動作範囲外でないか、照度が過小でないかを確認してください。

2 ATW1、ATW2、AWCを選択し、カメラ(セット)ボタンを押して、ATW設定メニューまたはAWC設定メニューを表示し、ホワイトバランスを微調整します

カーソルを「R」の項目、「B」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、レベルを微調整します。

「R」は赤色、「B」は青色を表しており、+方向に動かすと色が濃く、-方向に動かすと色が薄くなります。



メモ

ホワイトバランスは画面上の色温度を自動的に検出して調整していますが、画面上に強い光源などがあると、正常に調整できない場合があります。

7 デジタル・ノイズ・リダクションを設定する [DNR]

1 カーソルを「DNR」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、デジタル・ノイズ・リダクション(DNR)を設定します

デジタルノイズリダクション機能を設定すると、低照度で自動的にノイズを低減します。

LOW : ノイズ低減効果小 (残像小) (工場出荷)

HIGH : ノイズ低減効果大 (残像大)

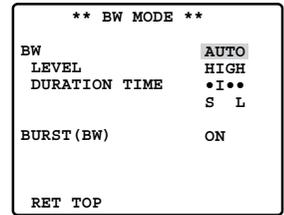
8 Day&Night機能を設定する [BW MODE]

カーソルを「BW MODE」の項目に合わせて、カメラ(セット) ボタンを押すと、BW MODE設定メニューが表示されます。

BW MODE設定メニューで白黒モードの各種設定を行います。

1 カーソルを「BW」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、画面の白黒制御を設定します

- AUTO :画面の明るさ(照度)により、カラー映像と白黒映像を自動的に切り替えます。
暗い場合は白黒映像に、明るい場合はカラー映像になります。
- ON :白黒映像を表示します。
- OFF :カラー映像を表示します。工場出荷時の設定です。



補足

ALARM IN 4の設定(⇒37ページ)が「BW」のときは、この設定は無効です。

2 手順1でAUTOに設定した場合、カーソルを「LEVEL」に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、カラー映像と白黒映像を切り替える、明るさ(照度)のレベルを設定します

- LOW :カメラ周囲の明るさ(照度)が約1.5 lx以下のとき白黒映像に切り替えます。(AGC ON(MID)、SENS UP OFF設定時)
- HIGH :カメラ周囲の明るさ(照度)が約3 lx以下のとき白黒映像に切り替えます。(AGC ON(MID)、SENS UP OFF設定時)工場出荷時の設定です。

メモ

- ・ カラー映像に戻るには十分な照度(約30 lx以上)が必要です。
- ・ 被写体やご使用の光源・レンズによって切換照度は変わります。
- ・ AGCの設定(⇒10ページ)によって切換照度は変わります。
- ・ 上記の切換照度はあくまでも参考値ですので、設置される環境にて確認を行ってください。
- ・ 白黒切替を使用する場合はAGCをONにしてご使用することをお奨めします。

3 手順1でAUTOに設定した場合、カーソルを「DURATION TIME」に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、照度変化によりカラー映像または白黒映像に切り替わるまでの時間を設定します

設定時間:2秒-10秒-30秒-60秒
(S) (L)

工場出荷時の設定は「10秒」です。

補足

「AUTO」を選択した場合、回転台やズーム・フォーカスの動作中はカラー映像と白黒映像の切り替えは働きません。

カメラ設定

4 カースルを「BURST(BW)」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、バースト信号出力のON/OFFを設定します

白黒画面を表示する場合の設定です。

ON :バースト信号を出力します。工場出荷時の設定です。

OFF :バースト信号を出力しません。

補足

カメラ映像を白黒で表示する場合、モニターやVTRの種類によってはバースト信号がないと正常に映像が表示されない機器があります。このような機器を使用するときは「ON」に設定してください。

9 オートフォーカス機能を設定する [AF MODE]

1 カースルを「AF MODE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、オートフォーカスの動作モードを設定します

NORMAL S.M.L :システムコントローラーのオートフォーカススイッチを押したときに、オートフォーカスが働きます。手動によるパン・チルト・ズーム操作時に、自動的にオートフォーカスは働きません。

AUTO S.M.L :手動によるパン・チルト・ズーム操作時に、自動的にオートフォーカスが働きます。

S.M.Lは、オートフォーカスを設定するエリアを表わしており、Small(小)、Middle(中)、Large(大)の略です。

工場出荷時の設定は「AUTO L」です。

メモ

- ・ WIDE(広角)で合わせたあとにズームアップすると、ピントがぼける場合があります。
- ・ 以下のような被写体は、オートフォーカスでピントを合わせることはできません。手動操作でピントを合わせてください。

(例)・ 輝いたり、強い光が反射する被写体

- ・ 水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体
- ・ 遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合
- ・ 白い壁など、明暗差のない被写体
- ・ ブラインドなど、横じまの被写体
- ・ 斜めの被写体
- ・ 暗い被写体

また、オートフォーカスは、画面の中央部にある被写体に対してピントを合わせるため、画面の周辺にある被写体にはピントが合いません。

⑩ 同期方式を設定する [SYNC]

本機は次に示す2種類の同期方式に対応しています。また、記載順序は同期方式の優先順位を表しています。

- ① 多重化垂直ドライブ(VD2)
- ② 内部同期(INT)

多重化垂直ドライブ(VD2)が入力された場合は、カメラがほかの同期方式に設定されていても、自動的にVD2同期に切り替わります。この場合、カメラ設定メニューには「VD2」と表示され、内部同期(INT)への切り替えはできません。

⑪ ズームリミットを設定する [ZOOM LIMIT]

1 カーソルを「ZOOM LIMIT」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ズームリミット倍率を設定します

手動操作時に、ズームリミット倍率以上のズーム操作を行うことはできません。

1倍～36倍までは光学、それ以上(720倍まで)は電子ズームとなります。

メモ

- ・ズームリミットが36倍以上に設定されている場合、ズーム操作時に36倍で一度停止します。
- ・36倍以上(電子ズーム)では倍率を上げると、解像度が低下します。
- ・36倍よりもズーム倍率が高い位置にプリセットポジションの設定はできません。

工場出荷時の設定は「×36」(光学36倍)です。

⑫ 画揺れ補正を設定する [STABILIZER]

1 カーソルを「STABILIZER」の項目に合わせて、ジョイスティックを動かし、画揺れ補正のON/OFFを切り替えます

メモ

- ・以下のような被写体に対しては、画揺れ補正が効きにくい場合があります。
(例)・ 暗い被写体
 ・ 明暗差のない被写体(白い壁など)
- ・ 速い周期の画揺れは、追従しない場合があります。
- ・ パン・チルト・ズーム・フォーカス動作中、カメラ設定メニュー表示中は、画揺れ補正は効きません。
- ・ ONに設定した場合、画面の一部を切り出して補正を行うため、画角が狭くなり、解像度が低下します。
- ・ 画像安定が不安定なときは、機能しません。

ON :画像の揺れを補正します。

OFF :画像の揺れを補正しません。

工場出荷時の設定は「OFF」です。

パン・チルト設定

パン・チルト設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、パン・チルト設定メニューを表示し、各メニュー項目の設定を行います。最初にパン・チルト設定メニューを表示します。

- 1 セットアップメニューを表示し(⇒6ページ)、カーソルを「PAN/TILT ↕」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
パン・チルト設定メニューが表示されます。

PAN/TILT SETUP 1/2	
PRESET	1 ↕
MAP ↕	
HOME POSITION	OFF
SELF RETURN	OFF
AUTO MODE	OFF
AUTOPAN KEY	AUTOPAN
PATROL ↕	
PRIVACY ZONE	OFF
IMAGE HOLD	OFF
DIGITAL FLIP	ON
PROPO.P/T	ON

PAN/TILT SETUP 2/2	
AREA TITLE	OFF
TILT ANGLE	0
CLEANING	OFF
RET TOP	

※各パン・チルト設定メニュー①～⑭を順番に説明します。

① プリセットポジションの設定 [PRESET]

プリセット番号を設定し、プリセット番号ごとに撮影場所・撮影条件を設定します。設定は、下記の「プリセットポジションの設定 [MAP]」で行うこともできます。プリセット番号1～4は、アラーム機能(⇒36ページ)と連動させることもできます。

- 1 カーソルをPRESETの設定項目「1」に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、設定したいプリセット番号(1～256)に切り替えます
- 2 カメラ(セット)ボタンを押します
プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。(⇒17ページ)

② プリセットポジションの設定 [MAP]

設定は、上記の「プリセットポジションの設定 [PRESET]」で行うこともできます。

- 1 カーソルを「MAP ↕」に合わせて、カメラ(セット)ボタンを押します

PRESET POSITION			
1*	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
ID:			
033-064	225-256		
RET TOP			

(⇒次ページへ続く)

2 設定したいプリセット番号にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。
(⇒本ページ)

プリセット番号33~64を設定するときは、メニュー左下の「033-064」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押してください。それ以降のプリセット番号を設定する場合も同様です。

PRESET POSITION			
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
ID:			
065-096		001-032	
RET TOP			

メモ

- ・プリセット番号右側の「*」印は、プリセットが設定されていることを示します。ホームポジションに設定されている場合は、「*」印の横に「H」印が表示されます。
- ・プリセットIDが登録されているプリセット番号にカーソルを合わせると、「ID:」欄にプリセットIDが表示されます。

●撮影場所を設定する [POSITION SET]

カメラの向き(水平・垂直位置)、レンズのズーム・フォーカスを設定します。

1 カーソルを「POSITION SET ↓」に合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、ポジション設定メニューを表示します

PRESET NO. 1*	
POSITION SET ↓	
PRESET ID	ON ↘
ALC/MANUAL	ALC ↘
AF MODE	NORMAL L
DWELL TIME	10S
SCENE FILE	OFF
PRESET SPEED	*****I255 L H
RET TOP DEL	

2 PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します

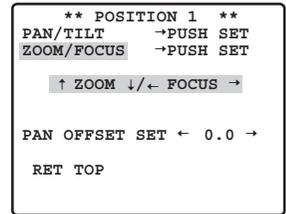
** POSITION 1 **	
PAN/TILT	→PUSH SET
ZOOM/FOCUS	→PUSH SET
PAN OFFSET SET ← 0.0 →	
RET TOP	

3 ジョイスティックを上下左右に動かしてカメラの向き(水平・垂直位置)を設定し、カメラ(セット)ボタンを押します

** POSITION 1 **	
PAN/TILT	→PUSH SET
ZOOM/FOCUS	→PUSH SET
↑ TILT ↓ ← PAN →	
PAN OFFSET SET ← 0.0 →	
RET TOP	

パン・チルト設定

- 4** ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ(セット) ボタンを押し、ZOOM/FOCUS 設定メニューを表示します



- 5** ジョイスティックを上下左右に動かし、レンズのズーム・フォーカス位置を調整し、カメラ(セット) ボタンを押します

メモ

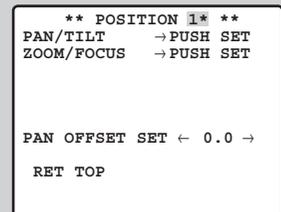
- 水平に近い角度で使用する場合、ドームカバーの成形ひずみにより、フォーカス調整があまくなる場合があります。
- ポジション設定メニュー上部のプリセット番号にカーソルを合わせ、ジョイスティックを左または右に動かすとプリセット番号を選択できます。ここでカメラ(セット)ボタンを押すと、選択したプリセット番号の撮影場所を設定することができます。
- カメラID、プリセットIDが登録されているとポジション設定メニュー下部にカメラID、プリセットIDが表示されます。
- WV-CU650(※)、WJ-HD316A以外のシステム機器をお使いの場合、65以上のプリセット番号を指定できません。
(2011年12月現在)

※システムコントローラーのソフトウェアバージョンにより可能な操作方法が異なります。

Ver.1.xx以前:カメラファンクションによる操作のみ対応。

Ver.2.xx以降:プリセット/プリセット登録ボタンによる操作にも対応。

ここに合わせる



●カメラ交換時のカメラ位置調整 [PAN OFFSET SET]

システムコントローラーなどには、カメラの設定情報をダウンロード(保存)、アップロード(回復)する機能があります。これは、予期せぬ障害や事故によって失われたカメラの設定情報を、ダウンロード(保存)した情報を元に回復するための機能です。ただし、カメラ交換時にアップロード(回復)すると、交換前の映像と微妙な位置ずれを起こすことがあります。この位置ずれを調整する機能が「PAN OFFSET SET」です。

- 1** 「PAN OFFSET SET」の項目(←または→)にカーソルを合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、オフセット値を設定します

オフセット値は、0.0、-10.0 ~ +10.0の範囲で設定します。オフセット値を設定することにより、すべてのプリセットポジションのカメラ位置が修正されます。

重要!

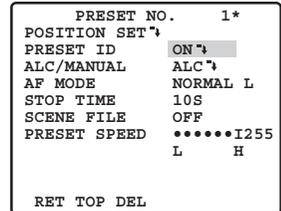
従来のカメラとはデータの互換性はありません。従来カメラの設定情報を本機にアップロードすると、本機のデータが破壊されます。本機のデータを破壊してしまったときは、工場出荷状態の本機を準備してカメラの設定情報をダウンロードし、データを壊したカメラへアップロードしてください。

●プリセットIDを設定する [PRESET ID]

プリセットIDとは、カメラが撮影する場所を英数記号およびカタカナで表したもので、モニター画面上に表示することができます。

工場出荷値の設定は「OFF」です。

- 1 カーソルを「PRESET ID」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます
工場出荷値の設定は「OFF」です。



2 「ON」または「OFF」を選択し、カメラ(セット) ボタンを押します

プリセットID設定メニューが表示されます。

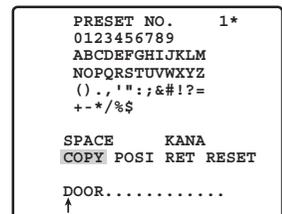
3 ジョイスティックを動かして入力したい文字の上にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

操作方法は、カメラIDの設定方法と同じです。

「①カメラIDを設定する(⇒7～8ページ)」の手順3,4,5の操作を行い、タイトル名と表示位置を設定してください。

【他のプリセット番号で設定したIDをコピーするときは】

「COPY」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します。1つ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されます。続けてカメラ(セット)ボタンを押すと、もう1つ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されます。



メモ

プリセットIDの表示設定をONにした場合で、カメラがプリセットポジション位置を向いているときは、カメラIDの表示設定(ON/OFF)、及び、表示位置設定に依らず、カメラIDはプリセットIDの上側に表示されます。

●レンズの絞り方法を設定する [ALC/MANUAL]

設定方法は8～9ページを参照してください。

MANUAL設定時は、詳細メニューでレンズの絞りを調整することができます。

●オートフォーカス機能を設定する [AF MODE]

- 1 カーソルを「AF MODE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、オートフォーカス機能を設定します

NORMAL S.M.L :プリセットポジションへの移動完了後、オートフォーカスが動きません。

AUTO S.M.L :プリセットポジションへの移動完了後、オートフォーカスが働きます。

工場出荷値の設定は「NORMAL L」です。

パン・チルト設定

●シーケンス、ソート動作時の停止時間を設定する [DWELL TIME]

シーケンス、ソート動作時(⇒23ページ)の各プリセットポジションを映し出す時間(カメラの回転が停止している時間)を設定します。

1 カーソルを「DWELL TIME」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、停止時間を設定します

停止時間の表示は次のように切り替わります。(単位:秒、分)
工場出荷値の設定は「10S」です。

2S ↔ 3S ↔ 5S ↔ 10S ↔ 30S ↔ 1MIN ↔ 2MIN ↔ 3MIN ↔ 4MIN

PRESET NO.	1*
POSITION SET ↴	
PRESET ID	ON ↴
ALC/MANUAL	ALC ↴
AF MODE	NORMAL L
DWELL TIME	10S
SCENE FILE	OFF
PRESET SPEED	*****
	L H
RET TOP DEL	

●シーンファイルの選択と設定方法 [SCENE FILE]

撮影場所(シーン)に合わせたカメラ設定をシーンファイルといい、10種類まで記憶することができます。記憶したシーンファイルは1~10の番号(シーンファイル番号)で管理され、プリセットポジション設定時に選択することができます。ここでは、シーンファイルの選択方法と設定方法について説明します。

(1) シーンファイルを選択する

記憶されているシーンファイルを現在設定しているプリセットポジションで使用する場合の設定です。

1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、使用するシーンファイル番号(1~10)を選択します

シーンファイルを使用しないときは、「OFF」を選択してください。
工場出荷値の設定は「OFF」です。

PRESET NO.	1*
POSITION SET ↴	
PRESET ID	ON ↴
ALC/MANUAL	ALC ↴
AF MODE	NORMAL L
DWELL TIME	10S
SCENE FILE	OFF
PRESET SPEED	*****I255
	L H
RET TOP DEL	

(2) シーンファイルを設定する

1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、シーンファイル番号(1~10)を設定します

2 カメラ(セット)ボタンを押します

シーンファイル設定メニューが表示されます。
シーンファイル設定メニューでは以下の項目が設定可能です。
各設定の詳細はカメラ設定の項目をご覧ください。

- ・ SHUTTER(⇒10ページ)
- ・ AGC(⇒10ページ)
- ・ SENS UP(⇒11ページ)
- ・ WHITE BAL(⇒11ページ)
- ・ VMD(⇒33ページ)

SCENE FILE 1	
SHUTTER	AUTO
AGC	ON (MID)
SENS UP	OFF
WHITE BAL	ATW1 ↴
VMD	OFF
RET TOP	

●プリセットスピードを設定する [PRESET SPEED]

シーケンス、ソート動作時(⇒23ページ)の各プリセットポジションへの移動速度を設定します。

- 1 カーソルを「PRESET SPEED」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、移動速度を設定します

L方向に動かすと速度が遅くなり、H方向に動かすと速度が速くなります。

工場出荷値の設定は「255」です。

PRESET NO.	1*
POSITION SET ¹⁾	
PRESET ID	ON ²⁾
ALC/MANUAL	ALC ²⁾
AF MODE	NORMAL L
DWELL TIME	10S
SCENE FILE	OFF
PRESET SPEED	*****I255
	L H
RET TOP DEL	

●設定したプリセットポジションを消去する [DEL]

- 1 カーソルを「DEL」の項目に合わせて、カメラ(セット)ボタンを押します

そのプリセット番号の設定内容は消去され、ポジション選択メニューが表示されます。

PRESET NO.	1*
POSITION SET ¹⁾	
PRESET ID	ON ²⁾
ALC/MANUAL	ALC ²⁾
AF MODE	NORMAL L
DWELL TIME	10S
SCENE FILE	OFF
RESET SPEED	*****I255
	L H
RET TOP DEL	

PRESET POSITION			
1	2*	3*	4*
5*	6*	7*	8*
9*	10*	11*	12*
13*	14*	15*	16*
17*	18*	19*	20*
21*	22*	23*	24*
25*	26*	27*	28*
29*	30*	31*	32*
ID:DOOR			
033-064 225-256			
RET TOP			

③ ホームポジションの設定 [HOME POSITION]

あらかじめ設定したプリセットポジションをホームポジションとして設定できます。

システムコントローラーのホームボタンを押すことで、設定したポジションにカメラを向けることができます。以下の操作でホームポジションを設定します。

- 1 カーソルを「HOME POSITION」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、設定したいプリセット番号を選択します

選択したプリセット番号がホームポジションとして設定されます。ホームポジションを使用しないときは、「OFF」を選択してください。

⑤ オートモードの設定[AUTO MODE]

カメラの動作モード(OFF、SEQ、SORT、AUTOPAN、PATROL 1~4、AUTOTRACK)を設定します。

「AUTOPAN」を選択した場合は、AUTOPAN設定メニューで詳細設定を行います。

1 カーソルを「AUTO MODE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、動作モードを設定します

- OFF : 手動操作でのみ動作します。
- SEQ : 設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り替えます。(シーケンス動作)
- SORT : 設定されているプリセットポジションを、カメラの原点位置から左回りに切り替えます。(ソート動作)
- AUTOPAN : 設定したパンの範囲を自動的に旋回します。「AUTOPAN」を選択してカメラ(セット)ボタンを押すと、AUTOPAN設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。(⇒24ページ)
- PATROL 1~4 : パトロール機能で設定した動作を行います。
- AUTOTRACK : 以下の条件で移動物体の自動追尾を行います。
大きさが画面の1/48ブロック以上で、背景画像とのコントラスト比が5%以上の場合。
工場出荷値の設定は「OFF」です。

補足

- ・自動追尾の範囲は水平から真下までです。デジタルフリップ機能(⇒28ページ)は動作しません。また、PAN LIMIT設定(⇒24ページ)により、パン(水平)動作範囲を制限することができます。
- ・本機に搭載されている自動追尾機能は、画面上の動く物体を追尾する簡易的な機能です。
以下のような場合は、移動物体を自動追尾できません。
 - ・画面内に複数の移動物体が存在する場合
 - ・被写体にコントラストがない場合
 - ・移動物体の速度が速い場合
 - ・移動物体が小さいまたは大きい場合
 - ・映像が暗い場合
 - ・映像にちらつきがある場合
- ・オートモードは現在の設定モードです。コントローラなどで他の設定に変更された場合は自動で切り替わります。

設定内容は、次のように切り替わります。

OFF ↔ SEQ ↔ SORT ↔ AUTOPAN ↔ PATROL 1 ↔ PATROL 2
↑ → AUTOTRACK ↔ PATROL 4 ↔ PATROL 3 ← ↑

メモ

- ・AUTOPAN動作時にパン・チルトを、SEQ、SORT、PATROL、AUTOTRACK動作時にパン・チルトやズーム・フォーカスを手動操作すると、オートモードは解除されます。ただし、設定メニュー上は変更されませんので、オートモードに戻りたい場合は、一度セットアップメニューを開いてから閉じてください。また、セルフリターンの設定時間(⇒22ページ)が経過したあとでもオートモード機能が働き始めます。
- ・動作中にレンズがリフレッシュモードに入ることがあります。
- ・PATROL 1~4は、設定したパトロール記憶数(⇒25ページ)のみ表示されます。
- ・コントローラからAUTOPAN実行操作を行うと、オートモードは解除され、AUTOPAN KEYの値が設定されます。

パン・チルト設定

●AUTOPANの詳細内容を設定する

1 パンのスタート位置とエンド位置を次の手順で設定します

- ① カーソルを「POSITION」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
「START」にカーソルが移動します。
- ② ジョイスティックでカメラを動かしてパンのスタート位置を決め、カメラ(セット)ボタンを押します
スタート位置が決定し、「END」にカーソルが移動します。
- ③ ジョイスティックでカメラを動かしてパンのエンド位置を決め、カメラ(セット)ボタンを押します
エンド位置が決定し、「POSITION」にカーソルが移動します。

AUTOPAN	
POSITION	START
	END
SPEED	●●●I●●●127
	L H
ENDLESS	OFF
DWELL TIME	1S
PAN LIMIT	OFF
RET TOP	

2 カーソルを「SPEED」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、パンの回転速度を設定します

H方向(右方向)に動かすと回転速度が速くなり、L方向(左方向)に動かすと回転速度が遅くなります。

3 カーソルを「ENDLESS」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、エンドレス旋回のON/OFFを設定します

ON :スタート位置からエンド位置に向かってパン旋回し、次に同じ方向に旋回してエンド位置からスタート位置に戻ります。PAN LIMIT(手順5)は「OFF」に設定してください。以後この動作を繰り返します。

OFF :スタート位置からエンド位置に向かってパン旋回し、次に逆方向に旋回してエンド位置からスタート位置に戻ります。以後この動作を繰り返します。

工場出荷値の設定は「OFF」です。

4 カーソルを「DWELL TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、スタート位置およびエンド位置での停止時間を設定します

停止時間の表示は次のように切り替わります。(単位:秒)

工場出荷値の設定は「1S」です。

0S ↔ 1S ↔ 2S ↔ 3S ↔ 5S ↔ 10S ↔ 20S ↔ 30S



5 カーソルを「PAN LIMIT」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

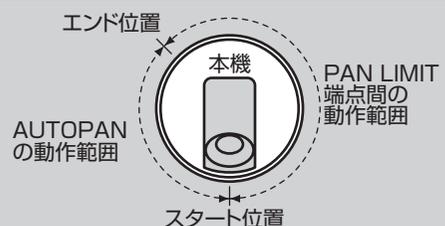
ON :手動操作時は、PAN LIMIT端点間へカメラを向けることができません。チルト(垂直)の動作範囲は、水平から真下までです。ENDLESS(手順3)は「OFF」に設定してください。

OFF :手動操作時でも、PAN LIMIT端点間へカメラを向けることができます。

工場出荷値の設定は「OFF」です。

PAN LIMIT端点間とは

手順1で設定したスタート位置からエンド位置までの端点間の反対側をPAN LIMIT端点間といいます。



⑥ AUTOPANキーの設定[AUTOPAN KEY]

システムコントローラーからAUTOPAN実行操作を行ったときに起動される、本機動作モード(⇒23ページ)を設定します。

1 カーソルを「AUTOPAN KEY」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、動作モードを設定します

動作モードは次のように切り替わります。
工場出荷値の設定は「AUTOPAN」です。

AUTOPAN ↔ SEQ ↔ SORT ↔ PATROL1 ↔ PATROL2 ↔ PATROL3 ↔ PATROL4 ↔ AUTOTRACK

メモ

- ・AUTOPANキーによるオートモードの開始はできますが、停止はできません。
- ・PATROL1～4は、設定したパトロール記憶数(⇒25ページ)のみ表示されます。

⑦ パトロール機能を設定する[PATROL]

手動で操作した内容を記憶し、再現する機能です。

1 カメラの動作を記憶するときは、メニューを閉じた状態でカメラの向きを動作開始位置に合わせます

2 カーソルを「NUMBER」に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、パトロール記憶数を設定します

記憶数は以下のように切り替わります。記憶数により、記憶できる時間が変わります。記憶時間の表示は、次のように切り替わります。(単位:秒、分)

工場出荷値の設定は「1(2MIN)」です。

1(2MIN) ↔ 2(1MIN) ↔ 4(30S)

記憶数を変更するときは、記憶したパトロールをすべて消去してから行ってください。すべて消去する場合は、カーソルをRESETに合わせ、カメラ(セット)ボタンを押してください。

PATROL	
NUMBER	4 (30S)
PATROL1*	PLAY
PATROL2	----
PATROL3	----
PATROL4	----
RESET	
RET TOP	

メモ

記憶時間の合計は2分です。パトロールの設定数で各パトロール時間が異なります。

3 カーソルをPATROL1～4に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、パトロール機能を設定します

- : 該当のパトロール機能を使用しません。
- PLAY : 記憶したカメラ動作を再現します。
(⇒26ページ、PLAYを選択した場合)
- LEARN : カメラ動作を記憶します。(記憶済みの場合、PATROL項目の右に「*」が表示されます。)
(⇒26ページ、LEARNを選択した場合)
- DEL→PUSH SET : カメラ(セット)ボタンを押すと、記憶したカメラ動作を消去します。

パン・チルト設定

<PLAYを選択した場合>

- (1)システムコントローラーの「F2」ボタンを押して、メニューを閉じます
カメラの向きが記憶開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- (2)再現を終了するときには、パン・チルトやズーム・フォーカスなどを手動操作します

<LEARNを選択した場合>

- (1)システムコントローラーの「F2」ボタンを押して、メニューを閉じます
開始位置が記憶され、カメラ動作を記憶する状態になります。
- (2)カメラを操作し、動作を記憶します
記憶中は画面中央に「LEARNING(○○○S)」の文字が表示されます。(単位:秒)
※「(○○○S)」は、記憶可能な残り時間を表します。
- (3)セットアップメニューを表示し、記憶を停止します
残り時間の表示が「OS」に到達したときも記憶を停止します。(単位:秒)

メモ

- ・「LEARN」を選択してカメラ動作を記憶する場合、記憶される内容は次のとおりです。
 - ① 動作開始位置記憶時
パン・チルト・ズーム・フォーカスの位置／IRISのレベル／シャッター速度(SHUTTER)のレベル／ゲイン(AGC)の設定／電子感度アップ(SENS UP)の設定／ホワイトバランス(WHITE BAL)の設定
 - ② カメラ操作時
パン・チルト・ズーム・フォーカス／IRISのOPEN/CLOSE／プリセットポジションの移動
- ・パトロール動作中は、システムコントローラーの電源がONまたはOFFになっている場合、パトロール再生を中止します。パトロールONに設定してある場合、再生ボタンを再度押してください。パトロールが再開します。
- ・パトロール動作中は、オートフォーカス機能が動作しません。このとき、ズームレンズの特性としてWIDE(広角)側からズームアップした場合、ピントがぼけます。ズーム動作を記憶する場合は、TELE(望遠)側からスタートするとピントのズレが抑えられます。
- ・パトロールの動作範囲は、水平から真下までです。デジタルフリップ機能(⇒28ページ)は動作しません。
- ・パトロール動作を記憶させている途中で終了する場合は、システムコントローラーの「STOP」ボタンを押すか、メニューを表示させてください。

⑧ プライバシーゾーンを設定する[PRIVACY ZONE]

撮影場所(画面)中の写したくない部分をプライバシーゾーンとして設定して、写さないようにすることができます。プライバシーゾーンは、8か所まで設定できます。

メモ

- ・設定したプライバシーゾーンは、カメラの向きによっては写ってしまう場合もあります。
- ・電源投入直後の初期化動作時は、プライバシーゾーン機能は働きません。
- ・スタビライザーがONの場合、プライバシーゾーンがずれる可能性があります。

1 カーソルを「PRIVACY ZONE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON(1)/ON(2)/OFFを切り替えます

- ON(1) : プライバシーゾーンを使用します。(黒抜き)
- ON(2) : プライバシーゾーンを使用します。(モザイク)
- OFF : プライバシーゾーンを使用しません。

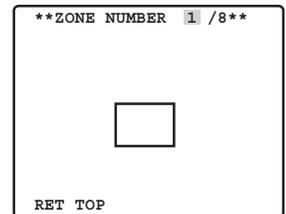
工場出荷値の設定は「OFF」です。

プライバシーゾーンの設定は、手順2以降の操作を行います。

2 カーソルを「PRIVACY ZONE」の項目に合わせて

ゾーン番号選択メニューが表示されます。エリア未設定時、画面はWIDE(広角)になります。

ジョイスティックを左または右に動かし、ON(1)またはON(2)を選択して、カメラ(セット)ボタンを押します。



3 カーソルを「ZONE NUMBER」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、設定したいゾーン番号(1~8)を選択します

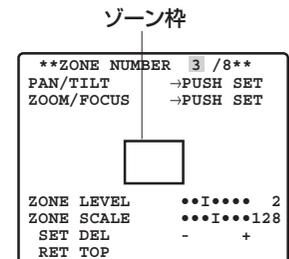
ゾーン番号右側の「*」印は、プライバシーゾーンが設定されていることを表します。この場合、設定時のズーム画角になります。

4 カメラ(セット)ボタンを押します

ゾーンの設定状態により、ゾーン設定メニューが次のように表示されます。

設定されているゾーンが画面中央に表示されます。

手順5以降の操作をすると、設定されているゾーンは消去され、新しいゾーンを設定する状態になります。

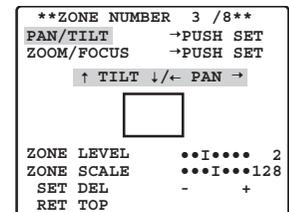


5 PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ(セット)ボタンを押します

PAN/TILT設定メニューが表示されます。

6 ジョイスティックを上下左右に動かしてカメラの向き(水平・垂直位置)をゾーン設定したい場所に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

カメラの向きが決定し、ゾーン設定メニューに戻ります。



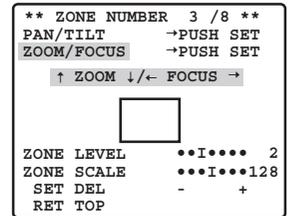
7 ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

ZOOM/FOCUS設定メニューが表示されます。

パン・チルト設定

8 ジョイスティックを上下左右に動かし、レンズのズーム・フォーカス位置を調整し、カメラ(セット)ボタンを押します

調整が完了し、ゾーン設定メニューに戻ります。
ズーム調整は1倍～36倍の範囲で設定できます。



9 カーソルを「ZONE SCALE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ゾーン枠の大きさを設定します

→方向に動かすと小さくなり、+方向に動かすと大きくなります。ただし、縦横の比率は3:4に固定されています。また、ズーム倍率により設定できるゾーン枠の大きさは異なります。

10 PRIVACY ZONE設定をON (2)に設定する場合、カーソルを「ZONE LEVEL」に移動させてから、ジョイスティックを左または右に動かしプライバシーゾーンの濃度を変化させます。

11 カーソルを「SET」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

プライバシーゾーンの設定が完了し、ゾーン番号選択メニューに戻ります。
「DEL」を選択した場合は、ゾーンの設定を解除してゾーン番号選択メニューに戻ります。

9 イメージホールドを設定する [IMAGE HOLD]

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了するまで、移動前の映像を静止画で表示する機能です。ネットワークインターフェースユニットを使用して、ネットワーク経由でカメラ映像を監視するときに便利です。

11 カーソルを「IMAGE HOLD」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON :プリセットポジションの移動が完了するまで、移動前の映像を静止画で表示します。
OFF :プリセットポジションの移動中も、そのままの映像を表示します。
工場出荷値の設定は「OFF」です。

10 デジタルフリップ機能の設定 [DIGITAL FLIP]

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向0°～180°をワンモーションで回転することができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。(135°付近で画像の上下左右を反転します。)

11 カーソルを「DIGITAL FLIP」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON :デジタルフリップ機能を使用します。(PAN LIMITがONのときは90°までの回転となります。)
OFF :デジタルフリップ機能を使用しません。垂直方向0°～90°の範囲で回転します。
工場出荷値の設定は「ON」です。

メモ

- デジタルフリップ機能は、ジョイスティックを真下に向け続けたときに動作します。上、斜め上のときは動作しません。
- デジタルフリップ機能を「OFF」に設定している場合、カメラを垂直方向に180°動かすには次の操作が必要です。
 - ① ジョイスティックを下に動かし、カメラを真下に向ける
 - ② ジョイスティックを左または右に動かし、カメラを水平方向に180°回転させる
 - ③ ジョイスティックを上動かす

11 ズーム連動パン・チルトスピード機能を設定する [PROPO. P/T]

ズーム比に応じてパン・チルト(水平回転/垂直回転)の動作速度を自動調節し、最適な映像を見ることが出来る機能です。

1 カーソルを「PROPO. P/T」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON :パン・チルトの動作速度を自動調節します。

OFF :パン・チルトの動作速度を自動調節しません。

工場出荷値の設定は「ON」です。

12 エリアタイトルを設定する [AREA TITLE]

撮影場所の方角を画面に表示する機能の設定です。また、方角の代わりに任意の文字を表示することもできます。

表示する方角は、N(北)、NE(北東)、E(東)、SE(南東)、S(南)、SW(南西)、W(西)、NW(北西)です。

1 カーソルを「AREA TITLE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、エリアタイトルのON/OFFを設定します

ON(NESW) :方角を画面に表示します。

「ON(NESW)」を選択してカメラ(セット)ボタンを押すと、ポジション(NESW)設定メニューが表示され、詳細設定を行うことができます。
(⇒30ページ)

ON(USER) :設定した文字を画面に表示します。

「ON(USER)」を選択してカメラ(セット)ボタンを押すと、エリアタイトル(USER)選択メニューが表示され、詳細設定を行うことができます。
(⇒31ページ)

OFF :エリアタイトルを表示しません。

工場出荷値の設定は「OFF」です。

パン・チルト設定

(1)「ON(NESW)」を選択した場合

ポジション(NESW)設定メニューで、詳細設定を行うことができます。
「N(北)」の位置を設定することにより、他の方角が自動的に設定されます。

- 1 PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
PAN/TILT設定メニューが表示されます。

```
**DIRECTION(NESW)**
PAN/TILT      →PUSH SET
ZOOM/FOCUS    →PUSH SET
POSITION ↴
              +
              N
RET TOP
```

- 2 ジョイスティックを上下左右に動かしてカメラの向き(水平・垂直位置)を北の方角に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

```
**DIRECTION(NESW)**
PAN/TILT      →PUSH SET
ZOOM/FOCUS    →PUSH SET
POSITION ↴
      ↑ TILT ↓ ← PAN →
              +
              N
RET TOP
```

- 3 ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
ZOOM/FOCUS設定メニューが表示されます。

- 4 ジョイスティックを上下左右に動かし、レンズのズーム・フォーカス位置を調整し、カメラ(セット)ボタンを押します

```
**DIRECTION(NESW)**
PAN/TILT      →PUSH SET
ZOOM/FOCUS    →PUSH SET
POSITION ↴
      ↑ ZOOM ↓ ← FOCUS →
              +
              N
RET TOP
```

- 5 カーソルを「POSITION ↴」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
表示位置設定メニューが表示されます。

- 6 ジョイスティックを動かしてエリアタイトルの表示位置を設定し、モニター(ESC)ボタンを押します
エリアタイトルの表示位置が決定し、エリアタイトル(NESW)設定メニューに戻ります。

```
FLOOR 1
N
```

メモ

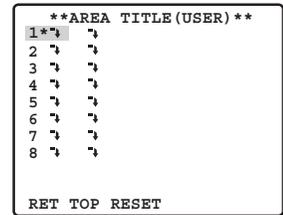
- ・ エリアタイトルは、常にカメラIDの下側に表示されます。カメラIDの表示位置とエリアタイトルの表示位置を別々の位置に設定した場合、エリアタイトルの表示位置設定が優先されます。
- ・ カメラIDの設定がON/OFFに関係なく、カメラIDは表示されます。

(2)「ON(USER)」を選択した場合

エリアタイトル(USER)選択メニューを表示して、詳細設定を行う場合の操作です。
8種類の方角と、そのエリアタイトルを個別に設定していきます。

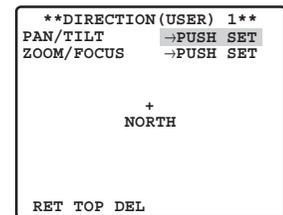
1 カーソルをエリア番号「1」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

ポジション設定メニューが表示されます。番号右側の「*」印は、エリアタイトルが設定されていることを表します。
設定されているタイトルは、「+」印の下に表示されます。設定されていない場合は、「+」印のみ表示されます。



2 カメラの向き(水平・垂直位置)、ズーム位置、フォーカス調整を行います

操作方法は、「(1)ON(NESW)を選択した場合」の手順1～4と同じです。(⇒30ページ)

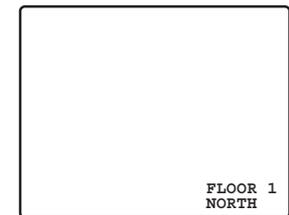
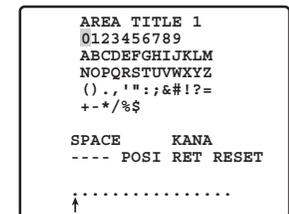


3 ジョイスティックを右に動かしてカーソルをタイトル名表示部に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

エリアタイトル設定メニューが表示されます。
手順1の画面例では「NORTH ↓」がエリア番号1のタイトル名表示部になります。

4 エリアタイトルを設定します

操作方法は、カメラIDの設定方法と同じです。
「①カメラIDを設定する(⇒7ページ)」の手順3～5の操作を行い、タイトル名と表示位置を設定してください。



5 手順1～4の操作を繰り返し、エリア番号2～8を設定します

パン・チルト設定

⑬ チルトの動作範囲を設定する [TILT ANGLE]

水平位置よりも上を監視したい場合に、 -5° の設定にします。

1 カーソルを「TILT ANGLE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、 10° ～ -5° を切り替えます

工場出荷値の設定は「 0° 」です。

メモ

- ・ 「TILT ANGLE」を -5° に設定したとき、WIDE側(広角)で、画面の上部約半分が隠れます。
- ・ 被写体によっては、AGCの効果により、映像が白くなる場合があります。
- ・ TILT 10° 未満でカバーが画面に写り込み、画面が欠ける場合があります。

⑭ クリーニング機能を設定する [CLEANING]

本機ではスリップリングと呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、画質の劣化やノイズが発生する場合があります。

クリーニング機能を使用すると、約1週間ごとにクリーニング機能が動作し、スリップリングの汚れを除去することができます。

1 カーソルを「CLEANING」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

クリーニング機能が動作しているときは、画面中央に「CLEANING」の文字が表示されます。

工場出荷値の設定は「OFF」です。

メモ

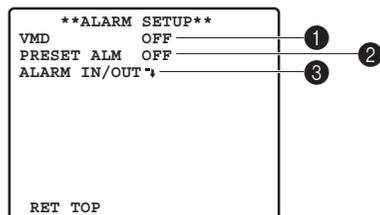
システムコントローラーにプリセットデータをアップロード、ダウンロードするときは、クリーニング機能を「OFF」にしてください。途中でクリーニング機能が動作すると、アップロード、ダウンロードが失敗します。

アラーム設定

アラーム設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、アラーム設定メニューを表示し、各メニュー項目の設定を行います。
最初に、アラーム設定メニューを表示します。

- 1 セットアップメニューを表示し(⇒6ページ)、カーソルを「ALARM ↕」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
アラーム設定メニューが表示されます。



※各アラーム設定メニュー①～③を順番に説明します。

① VMDの設定[VMD]

- 1 カーソルを「VMD」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、VMD機能を設定します

- | | |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| OFF | :VMD機能を使用しません。 |
| MOTION DET | :映像に動きを検出したときにアラーム信号を送出します。
[MOTION DET]を選択してカメラ(セット)ボタンを押すと、モーションディテクター設定メニューが表示され、詳細設定を行うことができます。 |
| SCENE CHANGE | :カメラが、布、スプレー、蓋などで覆い隠されたときにアラーム信号を送出します。 |

工場出荷値の設定は「OFF」です。

MOTION DET機能とは

1画面を48ブロックに分割してブロックごとに輝度の変化を認識することで、撮影場所の映像に変化(動き)が生じたときにアラーム信号を送出する機能です。オートモードで動作しているときに映像の変化(動き)を検出すると、アラーム信号を送出するとともに検出したプリセットポジションに設定した時間カメラを停止させることができます。

重要!SCENE CHANGEについて

- 以下の場合、検出できない可能性があります。
 - 画面の一部しか覆い隠されていない場合や、覆いが透けている場合
- また、以下のような場合、誤検出する可能性があります。
 - 照明のON/OFFなど明るさの変化が大きい場合
 - 人や車などの交通量が多い場合

メモ

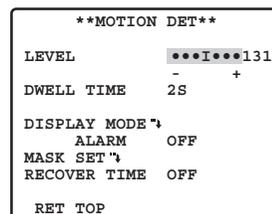
プリセットポジションごとに、VMDを設定したい場合は、シーンファイルをご使用ください(⇒20ページ)。

アラーム設定

●MOTION DET機能の詳細設定を行う

1 「MASK SET」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

マスク設定画面が表示されます。



2 映像変化(動き)を検出しないエリアにマスクを設定します

マスクの設定方法は、9ページの手順5(SUPER-D6の設定)を参照してください。マスク設定後、モニター(ESC)ボタンを押すとモーションディテクター設定メニューに戻ります。

3 カーソルを「ALARM」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、デモモード時(手順4)のアラーム動作を設定します

ON :デモモード時にアラームを出力します。

OFF :デモモード時にアラームを出力しません。

工場出荷値の設定は「OFF」です。

4 「DISPLAY MODE」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

デモモードが実行されます。

デモモードとは

1画面を48ブロックに分割した状態で輝度変化の検出を行い、設定した検出感度レベルを超える輝度平均の変化が起こった部分をマスク表示します。デモモードの結果をもとに、検出感度レベルの調整(手順5)や検出エリアの設定(手順1)を繰り返し、最適の状態にします。

5 カーソルを「LEVEL」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、検出感度レベルを設定します

+方向に動かすと感度が上がり、-方向に動かすと感度が下がります。手順4,5を繰り返し最適のレベルに設定します。

検出条件

被写体の大きさ :動く物体は画面の1/48ブロック以上の大きさが必要。

被写体のコントラスト :背景画像と動く物体のコントラスト比が5%(最大感度設定時)以上必要。

被写体の動く速さ :画面の端から端を物体が通過する時間が0.1秒~0.8秒必要。それよりも速く、または遅く動く物体は検出できません。

注: コントラスト比が十分な場合は、大きさ・動く速さの制限は緩和されます。

6 カーソルを「DWELL TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アラーム検出の間引き時間を設定します

アラーム検出後、設定時間が経過するまでは、次のアラームは検出されません。

時間の表示は次のように切り替わります。(単位:秒)

工場出荷値の設定は「2S」です。

2S ↔ 5S ↔ 10S ↔ 30S



(⇒次ページへ続く)

7 カーソルを「RECOVER TIME」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、アラーム復帰時間を設定します

時間の表示は次のように切り替わります。(単位:分)

「OFF」に設定した場合は、別の操作をするまで復帰しません。「AUTOTRACK」に設定した場合は、SEQ、SORT中に映像変化を検出したとき、自動追尾動作を行います。工場出荷値の設定は「OFF」です。

OFF ↔ 1MIN ↔ 2MIN ↔ 3MIN ↔ 5MIN ↔ 10MIN ↔ 20MIN ↔ 30MIN ↔ 60MIN ↔ AUTOTRACK

メモ

- ・通常はSEQモードで監視し、映像変化を検出したときに自動追尾を行って、一定時間経過後にSEQに戻りたい場合は、セルフリターン設定を「SEQ」に設定してください。
- ・風に揺れるカーテンなどを検出する場合は、マスク設定により検出エリアから除外してください。
- ・低照度下のノイズが多い条件では誤動作する場合がありますので、感度(LEVEL)を下げてご使用ください。また、車のヘッドライトや照明のON/OFFなどにより被写体の照度が急激に変化する場合は、誤検出する場合があります。
- ・本機で映像の変化(動き)を検出してから、VTRなどのアラーム端子に信号が送られるまでに、約0.2秒の遅れがあります。
- ・設定メニューを表示している場合、アラームは出力されません。ただし、デモモードでアラームをONにしているときは除きます。
- ・パン・チルト・ズーム・フォーカスなどの動作中は、アラームは出力されません。
- ・VMD機能を「MOTION DET」または「SCENE CHANGE」にすると、ブランキング期間にアラームデータを出力するため、VTRのタイムコードなどを使用する機器は誤動作します。同軸通信をしないときは、VMD機能を「OFF」にしてください。
- ・VMD機能は盗難、火災などの専用防止装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切負いかねます。
- ・プリセットポジションでVMDが設定されている場合、プリセットポジションのVMD設定を優先します。

② プリセットアラーム機能を設定する [PRESET ALM]

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了したときに、映像出力ケーブルおよびアラーム出力ケーブルにアラームを出力する設定です。

アラームを出力する条件は次のとおりです。

- ・セルフリターン機能(⇒22ページ)が動き、ホームポジションに移動が完了したときやオートモードに切り替わったときにアラームを出力する。
- ・オートモードの設定(⇒23ページ)が「SEQ」の場合、シーケンス動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- ・オートモードの設定(⇒23ページ)が「SORT」の場合、ソート動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- ・オートモードの設定(⇒23ページ)が「AUTOPAN」の場合、AUTOPAN開始位置までのプリセット移動が完了したときにアラームを出力する。
- ・手動操作によりプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- ・パトロール機能の設定(⇒25ページ)が「PLAY」の場合、開始位置までのプリセット移動が完了するごとにアラームを出力する。

設定方法は次のとおりです。

アラーム設定

1 カーソルを「PRESET ALM」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

- ON :プリセットアラーム機能を使用します。
- OFF :プリセットアラーム機能を使用しません。

工場出荷値の設定は「OFF」です。

メモ

プリセットデータのダウンロード、アップロード時は「OFF」にしてください。

3 アラーム機能を設定する[ALARM IN/OUT]

本機のアラーム入力ケーブル、アラーム出力ケーブルにアラーム信号の入出力があった場合の動作設定を行います。

1 カーソルを「ALARM IN/OUT」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します アラーム設定メニューが表示されます。

2 カーソルを「ALARM IN 1」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力1端子に信号を受けたときのカメラ動作を設定します

- OFF :アラーム入力前と同じ動作をします。
- 1 POS1 :プリセット番号1のポジションに移動します。
- AUTOPAN :オートパン動作を開始します。
- PATROL1 :パトロール1動作を開始します。
- AUTOTRACK1 :プリセット番号1のポジションに移動したあと、自動追尾を行います。
- PATROL1(S) :パトロール1動作を開始し、終了後も記憶した画質設定(⇒26ページ)を継続します。

工場出荷値の設定は「OFF」です。

ALARM IN/OUT	
ALARM IN1	AUTOTRACK1
ALARM IN2	OFF
ALARM IN3	OFF
ALARM IN4	OFF
CNT-CLS 1	OFF
TIME OUT	100MS
CNT-CLS 2	OFF
COAX ALM OUT	OFF
RET TOP	

3 カーソルを「ALARM IN 2」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力2端子に信号を受けたときの動作を設定します

- OFF :アラーム入力前と同じ動作をします。
- 2 POS1 :プリセット番号2のポジションに移動します。
- SEQ :シーケンス動作を開始します。
- PATROL2 :パトロール2動作を開始します。
- AUTOTRACK2 :プリセット番号2のポジションに移動したあと、自動追尾を行います。
- PATROL2(S) :パトロール2動作を開始し、終了後も記憶した画質設定(⇒26ページ)を継続します。

工場出荷値の設定は「OFF」です。

(⇒次ページへ続く)

4 カーソルを「ALARM IN 3」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力3端子に信号を受けたときの動作を設定します

- | | |
|------------|-------------------------------------------|
| OFF | :アラーム入力前と同じ動作をします。 |
| 3POSI | :プリセット番号3のポジションに移動します。 |
| SORT | :ソート動作を開始します。 |
| PATROL3 | :パトロール3動作を開始します。 |
| AUTOTRACK3 | :プリセット番号3のポジションに移動したあと、自動追尾を行います。 |
| PATROL3(S) | :パトロール3動作を開始し、終了後も記憶した画質設定(⇒26ページ)を継続します。 |

工場出荷値の設定は「OFF」です。

5 カーソルを「ALARM IN 4」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力4端子に信号を受けたときの動作を設定します

- | | |
|------------|-------------------------------------------|
| OFF | :アラーム入力前と同じ動作をします。 |
| 4POSI | :プリセット番号4のポジションに移動します。 |
| BW | :信号が入力されている間、白黒映像を表示します。 |
| PATROL4 | :パトロール4動作を開始します。 |
| AUTOTRACK4 | :プリセット番号4のポジションに移動したあと、自動追尾を行います。 |
| PATROL4(S) | :パトロール4動作を開始し、終了後も記憶した画質設定(⇒26ページ)を継続します。 |

工場出荷値の設定は「OFF」です。

補足

- PATROL 1(S)～4(S)は、アラーム入力によって画質設定を切り替えたい場合(例えば昼と夜で切り替えたい場合など)に使用します。ALARM IN4の「BW」と併用することもできます。
この用途で使用する場合、パトロール記憶前に、切り替えたい画質設定を行い、パトロール記憶を開始して、すぐに終了させてください。
- PATROL 1(S)～4(S)でアラーム入力によって画質設定を切り替えた場合、カメラ設定にその内容が反映され、電源再投入時も継続されます。
- PATROL 1(S)～4(S)は、設定したパトロール記憶数(⇒25ページ)のみ表示されます。

6 カーソルを「CNT-CLS 1」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アラーム検知時のアラーム出力1端子から外部へのアラーム出力動作を設定します

- | | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| OFF | :外部へのアラーム出力はしません。 |
| AUX1 | :システムコントローラーから「AUX1」の入力があつたときに端子クローズ信号を出力します。 |
| ALARM | :VMD機能(⇒33ページ)、プリセットアラーム機能(⇒35ページ)および、ALARM入力信号にてアラームを検知したときにアラーム信号を出力します。この設定にした場合は、アラーム信号の出力時間を手順7で設定します。 |

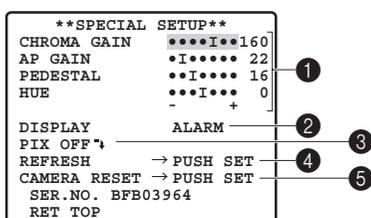
工場出荷値の設定は「OFF」です。

特別設定

特別設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、特別設定メニューを表示し、画質の調整を行います。
最初に、特別設定メニューを表示します。

- 1 セットアップメニューを表示し(⇒6ページ)、カーソルを「SPECIAL ↘」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
特別設定メニューが表示されます。



※各特別設定メニュー①～⑤を順番に説明します。

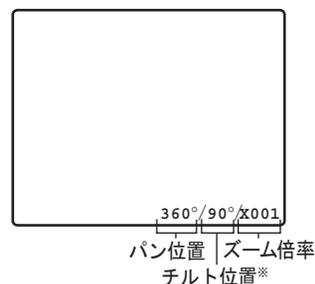
① 画質を調整する

- 1 カーソルを「CHROMA GAIN」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、クロマレベル(色度)を好みに合わせて調整します
- 2 カーソルを「AP GAIN」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アパーチャー(輪郭補正)を好みに合わせて調整します
- 3 カーソルを「PEDESTAL」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、画像の黒レベルを好みに合わせて調整します
- 4 カーソルを「HUE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、クロマ位相(色調)レベルを調整します

② 画面表示の設定をする [DISPLAY]

- 1 カーソルを「DISPLAY」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、画面表示の動作を設定します

OFF	:パン・チルト・ズーム位置表示、アラーム表示を行いません。
ALL	:パン・チルト・ズーム位置表示、アラーム表示をすべて行います。
POSITION	:パン・チルト・ズーム位置表示のみ行います。アラーム表示は行いません。
ALARM	:アラーム表示のみ行います。パン・チルト・ズーム位置表示は行いません。工場出荷時の設定です。



特別設定

メモ

パン・チルト・ズーム位置のモニター画面への表示(パン・チルト・ズーム操作時)／非表示の切り替え、およびアラーム種別のモニター画面への表示は、ショートカット操作(⇒46ページ)で行うこともできます。

※チルト位置は、-5°～90°～-5°の間で表示されます。

③ 傷の補正を行う [PIX OFF]

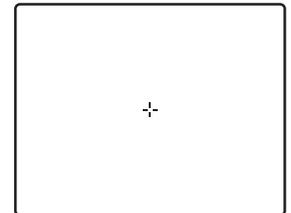
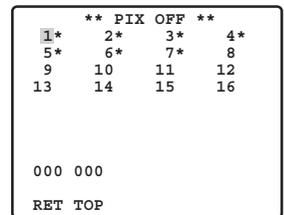
1 カーソルを「PIX OFF」の項目に合わせて、カメラ(セット)ボタンを押します

PIX OFFメニューが表示されます。以下の手順で傷の補正を行います。

2 白い点(傷)のある位置の数字を選択し、カメラ(セット)ボタンを押します

傷補正位置設定画面が表示されます。

- ① ジョイスティックを上下左右に動かすことにより、傷位置まで \oplus カーソルを移動させます。
- ② 白い点(傷)が目立たなくなる位置まで \oplus カーソルを移動させたあと、カメラ(セット)ボタンを押します。
傷補正位置が設定されます。
- ③ PIX OFFメニューに戻ります。
傷補正位置が設定されている場合、数字の右に「*」が表示されます。



[傷補正位置を消去したい場合]

- ① PIX OFFメニュー画面で該当する数字を選択し、カメラ(セット)ボタンを押します。
傷補正位置設定画面が表示されます。
- ② F3ボタンを押します。
- ③ PIX OFFメニューに戻ります。
傷補正位置が消去され、数字右の「*」表示が消えます。

④ ポジション位置を補正する [REFRESH]

1 使用中にポジションの位置がずれたときは、カーソルをREFRESH右側の「→PUSH SET」に合わせ、F3ボタンを押します

本機を使用中にポジション設定された位置からカメラがずれた場合、リフレッシュ機能を使用すると位置が補正されます。

⑤ カメラの設定内容を初期値に戻す [CAMERA RESET]

1 カメラの設定内容を初期値に戻すときは、カーソルをCAMERA RESET右側の「→PUSH SET」に合わせ、F4ボタンを押します

設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。ただし、プリセットポジション、AUTOPAN、パトロール、RS485、傷補正位置、パスワードの設定内容は変更されません。

カメラリセット後のメニュー表示はQUICKメニューではなくADVANCEDメニューになります。

メモ

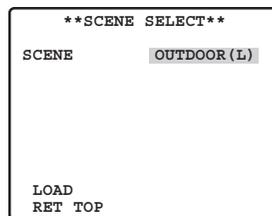
カーソルがCAMERA RESET以外にある状態で上記操作を行うと、メニュー操作ができない場合があります。その場合は、6ページ「セットアップメニューの表示方法」にしたがい、再度メニューを開いてください。

シーンセレクト設定

シーンセレクト設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、シーンセレクト設定メニューを表示し、シーンセレクトの設定を行います。最初に、シーンセレクト設定メニューを表示します。

- 1 セットアップメニューを表示し(⇒6ページ)、カーソルを「SCENE SELECT」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
シーンセレクト設定メニューが表示されます。



シーンセレクトを設定する

シーンセレクトを設定する手順を説明します。

- 1 カーソルを「SCENE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、シーン設定を切り替えます

INDOOR(L) : 屋内設定(画質優先) 工場出荷時の設定です。 **CS580**
INDOOR(H) : 屋内設定(感度優先)
OUTDOOR(L) : 屋外設定(画質優先) 工場出荷時の設定です。 **CW590**
OUTDOOR(H) : 屋外設定(感度優先)

シーン設定により、映像に関する設定項目が切り替わります。シーン設定と各設定項目の対応は、下表のとおりです。

	AGC	SENS UP	SHUTTER	BW	DNR	WHITE BAL
INDOOR(L)	MID	OFF	OFF	OFF	LOW	ATW1
INDOOR(H)	HIGH	×2 AUTO	OFF	OFF	HIGH	ATW1
OUTDOOR(L)	MID	OFF	AUTO	AUTO	LOW	ATW2
OUTDOOR(H)	HIGH	×2 AUTO	AUTO	AUTO	HIGH	ATW2

- 2 カーソルを「LOAD」の項目に合わせて、カメラ(セット)ボタンを押します
「SCENE」で選択した設定が映像に反映されます。

簡単メニュー設定

簡単メニューに切り替える

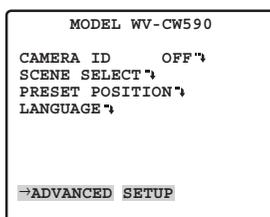
セットアップメニューから、簡単メニュー表示に切り替えます。

1 セットアップメニューを表示し(⇒6ページ)、カーソルを「→QUICK SETUP」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

詳細メニューから簡単メニューに表示が切り替わります。

簡単メニューでは、以下の項目のみ設定できます。

- ・カメラID設定(⇒7ページ)
- ・シーンセレクト設定(⇒42ページ)
- ・プリセットポジション設定(⇒16ページ)
- ・言語設定(6ページ)



簡単メニューでの各項目の設定方法については、詳細メニューの場合と同じです。

簡単メニューから詳細メニューに切り替えるには、カーソルを「→ADVANCED SETUP」の項目に合わせて、カメラ(セット)ボタンを押してください。

パスワード設定

パスワードロック機能を設定する

セットアップメニューから、パスワードロックの設定を行います。

パスワードロック機能のON/OFFを切り替える

パスワードロック機能によって、管理者のみが各種設定の変更を行えるように制限することができます。パスワードロックのON→OFFへの切り替え、およびOFF→ONへの切り替えには、必ずパスワード入力が必要となります。

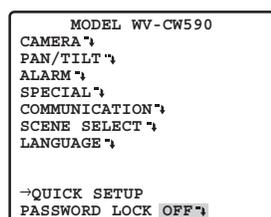
ON :パスワードロック機能を除く、すべてのメニュー設定を禁止します。

特定の管理者だけが設定の変更をする場合はこの設定にします。

OFF :全メニューの設定・変更ができます。

VTRに録画していると、入力操作が録画されパスワードがわかってしまいますので、ご注意ください。

- 1 セットアップメニューを表示し(⇒6ページ)、カーソルを「PASSWORD LOCK」の項目(ONまたはOFF)に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します
パスワード入力メニューが表示されます。



- 2 初めてパスワードを設定する場合は、工場出荷時のパスワード「123」を入力し、カメラ(セット)ボタンを押します

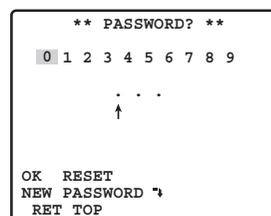
補足

必ずこの手順を行ってください。パスワードロックのON/OFFが切り替わりません。

- 3 カーソルを数字(0~9)に合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、パスワード(3桁)を入力します

1桁入力するごとに「↑」印が右に移動し、3桁のパスワードを入力するとカーソルが「OK」に移動します。

入力を間違えたときは、「RESET」にカーソルを合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、最初からパスワードを入れ直してください。



補足

工場出荷時のパスワードは「1 2 3」です。

- 4 カメラ(セット)ボタンを押します

セットアップメニューに戻り、パスワードロックのON/OFFが切り替わります。

誤ったパスワードが入力されると、再度パスワードを入力する状態になりますので、手順3の操作を行ってください。

パスワード設定

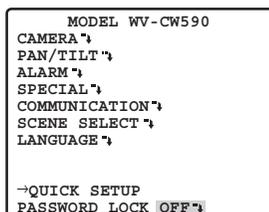
パスワードを変更する

パスワードロック機能を「ON」で使用する場合は、工場出荷時のパスワードを変更することをおすすめします。設定したパスワードは忘れないように注意してください。

VTRに録画していると、入力操作が録画されパスワードがわかってしまいますので、ご注意ください。

1 セットアップメニューを表示し(⇒6ページ)、カーソルを「PASSWORD LOCK」の項目(ONまたはOFF)に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します

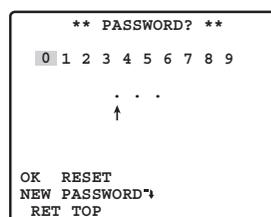
パスワード入力メニューが表示されます。



2 カーソルを数字(0~9)に合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、現在のパスワード(3桁)を入力します

1桁入力するごとに「↑」印が右に移動し、3桁のパスワードを入力するとカーソルが「OK」に移動します。

入力を間違えたときは、「RESET」にカーソルを合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、最初からパスワードを入れ直してください。

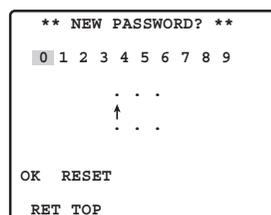


3 カーソルを「NEW PASSWORD ↵」に合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、パスワード設定メニューを表示します

誤ったパスワードが入力されると、再度パスワードを入力する状態になりますので、手順2の操作を行ってください。

4 カーソルを数字(0~9)に合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、新しいパスワード(3桁)を入力します

カーソルが「OK」に移動します。



5 カメラ(セット)ボタンを押します

もう一度新しいパスワードを入力する状態になります。

モニター(ESC)ボタンでは設定できません。

6 カーソルを数字(0~9)に合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、もう一度新しいパスワード(3桁)を入力します

カーソルが「OK」に移動します。

7 カメラ(セット)ボタンを押します

パスワードの変更が完了し、セットアップメニューに戻ります。1回目と2回目に入力したパスワードが違っていると、再度パスワードを入力する状態になりますので手順4~7の操作を行ってください。モニター(ESC)ボタンでは設定できません。

ショートカット操作について

「カメラ機能」ボタンのあるシステムコントローラーを使用すると、テンキーとカメラ機能ボタン操作で機能の設定をすることができます。(ショートカット操作)
 本機で使用できるショートカット操作は次のとおりです。プリセットポジションの移動もプリセット番号をテンキー入力することにより行えますが、下表からは省略しています。

メモ

- ・プリセットポジションを登録するときは、デジタルフリップ機能を「OFF」にしてから行ってください。「FLIP ON トウロクキンシ」と表示されたら再度設定してください。
- ・レンズ、回転台の動作中は、ショートカット操作を実行できないことがあります。
- ・パトロール機能で記憶できるショートカット操作は、1～64、169、170、301～556のみです。
- ・パトロールPLAY中、動作を止めずに実行できるショートカット操作は、169、170のみです。

システムコントローラーの操作	設定内容
[6]+[5]+[カメラ機能]	AUTOPAN ON
[6]+[6]+[カメラ機能]	AUTOPAN OFF
[6]+[7]+[カメラ機能]	AUTOPAN回転速度を1段階速くする
[6]+[8]+[カメラ機能]	AUTOPAN回転速度を1段階遅くする
[6]+[9]+[カメラ機能]	AUTOPANスタート位置設定
[7]+[0]+[カメラ機能]	AUTOPANエンド位置設定
[7]+[1]+[カメラ機能]	オートモード(AUTO MODE) OFF
[7]+[2]+[カメラ機能]	オートモード(AUTO MODE) SEQ ON
[7]+[3]+[カメラ機能]	オートモード(AUTO MODE) SORT ON
[7]+[4]+[カメラ機能]	AUTOPAN範囲反転
[7]+[6]+[カメラ機能]	エンドレス回転(ENDLESS) ON
[7]+[7]+[カメラ機能]	エンドレス回転(ENDLESS) OFF
[7]+[8]+[カメラ機能]	デジタルフリップ(DIGITAL FLIP) ON
[7]+[9]+[カメラ機能]	デジタルフリップ(DIGITAL FLIP) OFF
[8]+[0]+[カメラ機能]	ズーム連動パン・チルトスピード(PROPO.P/T)ON
[8]+[1]+[カメラ機能]	ズーム連動パン・チルトスピード(PROPO.P/T)OFF
[8]+[4]+[カメラ機能]	SUPER-D6 ON
[8]+[5]+[カメラ機能]	SUPER-D6 OFF
[8]+[6]+[カメラ機能]	オートフォーカス(AF MODE) AUTO
[8]+[8]+[カメラ機能]	オートフォーカス起動
[8]+[9]+[カメラ機能]	ホームポジションへ移動
[9]+[0]+[カメラ機能]	画面の白黒制御(BW) ON
[9]+[1]+[カメラ機能]	画面の白黒制御(BW) OFF
[9]+[2]+[カメラ機能]	画面の白黒制御(BW) AUTO
[9]+[3]+[カメラ機能]	カメラID(CAMERA ID) ON
[9]+[4]+[カメラ機能]	カメラID(CAMERA ID) OFF
[9]+[5]+[カメラ機能]	エリアタイトル(AREA TITLE) ON(NESW)
[9]+[6]+[カメラ機能]	エリアタイトル(AREA TITLE) ON(USER)
[9]+[7]+[カメラ機能]	エリアタイトル(AREA TITLE) OFF
[1]+[0]+[0]+[カメラ機能]	カメラ位置補正(REFRESH)起動
[1]+[0]+[1]+[カメラ機能]～	プリセット1～64の撮影場所を記憶する
[1]+[6]+[4]+[カメラ機能]	

ショートカット操作について

システムコントローラーの操作	設定内容
[1]+[6]+[5]+[カメラ機能]	パトロール1 (PATROL1) PLAY
[1]+[6]+[6]+[カメラ機能]	パトロール1~4 (PATROL1~4) STOP
[1]+[6]+[7]+[カメラ機能]	パトロール1 (PATROL1) LEARN開始
[1]+[6]+[9]+[カメラ機能]	レンズの絞り(IRIS) OPEN
[1]+[7]+[0]+[カメラ機能]	レンズの絞り(IRIS) CLOSE
[1]+[7]+[1]+[カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) ON
[1]+[7]+[2]+[カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) OFF
[1]+[7]+[3]+[カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階速くする
[1]+[7]+[4]+[カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階遅くする
[1]+[7]+[5]+[カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) ON
[1]+[7]+[6]+[カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) OFF
[1]+[7]+[7]+[カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX ON
[1]+[7]+[8]+[カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX OFF
[1]+[7]+[9]+[カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (FIX)
[1]+[8]+[0]+[カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (FIX)
[1]+[8]+[1]+[カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO ON
[1]+[8]+[2]+[カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO OFF
[1]+[8]+[3]+[カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (AUTO)
[1]+[8]+[4]+[カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (AUTO)
[1]+[8]+[7]+[カメラ機能]	180°ターン (パン方向)
[1]+[8]+[8]+[カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) ON
[1]+[8]+[9]+[カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) OFF
[1]+[9]+[0]+[カメラ機能]	BW AUTOの切り替え時間を2秒にする
[1]+[9]+[1]+[カメラ機能]	BW AUTOの切り替え時間を10秒にする
[1]+[9]+[2]+[カメラ機能]	BW AUTOの切り替え時間を30秒にする
[1]+[9]+[3]+[カメラ機能]	BW AUTOの切り替え時間を60秒にする
[1]+[9]+[4]+[カメラ機能]	パトロール2 (PATROL2) PLAY
[1]+[9]+[5]+[カメラ機能]	パトロール3 (PATROL3) PLAY
[1]+[9]+[6]+[カメラ機能]	パトロール4 (PATROL4) PLAY
[1]+[9]+[7]+[カメラ機能]	パトロール2 (PATROL2) LEARN開始
[1]+[9]+[8]+[カメラ機能]	パトロール3 (PATROL3) LEARN開始
[1]+[9]+[9]+[カメラ機能]	パトロール4 (PATROL4) LEARN開始
[2]+[0]+[0]+[カメラ機能]	自動追尾 ON
[2]+[0]+[1]+[カメラ機能]	振動補正 (STABILIZER) ON
[2]+[0]+[2]+[カメラ機能]	振動補正 (STABILIZER) OFF
[2]+[0]+[3]+[カメラ機能]	パン・チルト・ズーム位置表示機能 ON
[2]+[0]+[4]+[カメラ機能]	パン・チルト・ズーム位置表示機能 OFF
[2]+[0]+[5]+[カメラ機能]	アラーム表示機能 ON
[2]+[0]+[6]+[カメラ機能]	アラーム表示機能 OFF
[3]+[0]+[1]+[カメラ機能] ~	プリセット1~256の撮影場所に移動する*
[5]+[5]+[6]+[カメラ機能]	(例)プリセット128→[4]+[2]+[8]+[カメラ機能]
[6]+[0]+[1]+[カメラ機能] ~	プリセット1~256の撮影場所を記憶する*
[8]+[5]+[6]+[カメラ機能]	(例)プリセット128→[7]+[2]+[8]+[カメラ機能]

※従来のドーム型監視カメラ (WV-CS850シリーズ、WV-CW860シリーズ、WV-CS550、WV-CS570、WV-CW960、WV-CS950、WV-CW970など) に対して、本操作を行わないでください。誤動作の原因となります。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他で不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年 月 日	品番	WV-CS580, WV-CW590, WV-CW590A
	販売店名	電話 () -		

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号